

資料提供	
平成30年3月30日	
担当課 (担当者)	県立博物館 来見田博基(くるみだ ひろき)
電話	0857-26-8044

街歩き支援アプリ「鳥取こちずぶらり」の最新版を提供開始します

1 概要

平成26年3月から公開中の街歩き支援アプリ「鳥取こちずぶらり」について、新たに江戸時代後期の古地図1点（「鳥取城下町大切図 川内上」）と、昭和34年から同35年の間に撮影された城下町エリアの古写真61点を追加します。

2 新規に追加する古地図（「鳥取城下町大切図 川内上」）について

袋川と外堀（薬研堀）との間に区画された町割のうち、智頭街道よりも東側（袋川の上流側）を描いた絵図。天保14年（1843）以降に製作された。元大工町や鍛冶町など16の町と、その東側に配置された寺町（朱色）、袋川沿いの武士屋敷（黄色）が描かれている。このうち町人町は、一軒ごとに表間口と奥行の間数を記し、その所有者が記載されており、現在公開中の古地図のなかでは、町人地エリアの様子がもっとも詳しくわかる。



3 アプリ「鳥取こちずぶらり」の特徴と主な機能

- 古地図とGPS情報を対応づけており、古地図上に現在地を表示します。
- GPS情報によって操作者の動きに合わせて現在地表示が移動するので、古地図の上を歩いているような感覚を味えます。
- 地図上のランドマークアイコン（赤色）をタッチすると、その地点の情報が表示できます。
- 古地図と現在地図との表示を切り替えることができます。
- 切り替え時には、回転機能により、方位を合わせて地図を表示します。
- 地図上のランドマークアイコン（オレンジ色）をタッチすると、明治から昭和50年代に撮影された古写真や絵葉書が表示できます。

※Android版ではiOS版のカメラ機能が使用できないなど、一部内容が異なります。

《使用できる古地図等》

- 鳥取城下之図：慶安3年以前（1650年以前）作成
- 鳥取城下全図：安政6年（1859年）作成
- 米軍空中写真：昭和22年（1947年）作成
- 国土基本図：昭和46年（1971年）作成
- 鳥取城下町大切図 川内上 天保14年（1843年）以降作成 【追加公開】

4 配信開始日

平成30年3月30日 午前10時から

5 取得方法

アプリ配信サイト(AppStore)、(Google Play)を通じて取得（無料領布）
(配信サイトにおいて「鳥取こちずぶらり」で検索)

6 対応機種

- iPhone4以降と、iPad、iPad miniの高解像度ディスプレイに対応
- Android搭載端末（OSのバージョンや機種により動作状況は異なります）